

2024年度(2024/1月1日~12月31日)

環境経営レポート



2025年2月10日発行

承認	作成
春山	矢澤

長野県 茅野市 仲町 16-30

株式会社 司 建設

はじめに

当社は 2017 年 8 月 1 日に環境システムを構築し、環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは、当社の事業年度に合わせ、毎年 1 月から 12 月までをひとつの区切りとしています。

この「環境活動レポート」は、環境マネジメントシステムを立ち上げてから 7 年目の事業年度を対象にまとめました。

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

1-1.事業所名

株式会社 司 建設

1-2.所在地

長野県 茅野市 仲町 16-30

1-3.環境保全関係の責任者及び担当者

経営者 : 代表取締役 春山 晴夫
環境管理責任者 : 常務 春山 聡志
事務局 : 建築部営業責任者 矢澤 秀一

1-4.連絡先

TEL : 0266-72-8880
FAX : 0266-72-8842
E-mail : tukasa.h-yazawa@movie.ocn.ne.jp

1-5.事業内容(認証・登録範囲)

土木建築工事の施工

本社、土場(建築資材置き場)-1、土場(建築資材置き場)-2

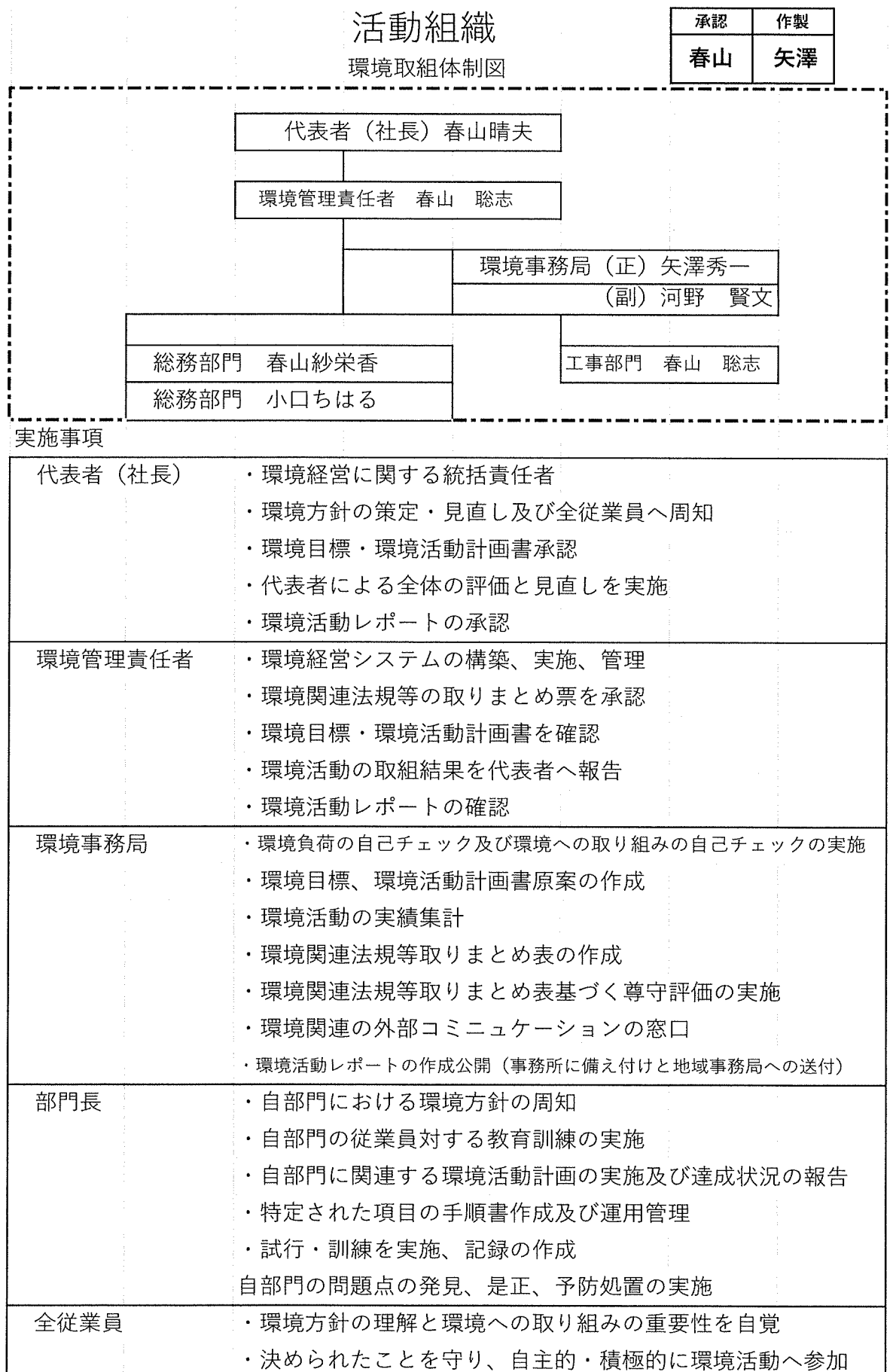
1-6.事業規模 (2024 年度)

受注額 : 798 百万円
従業員 : 16 名
延床面積 : 946m²
敷地面積 : 2733m²

2-1.対象範囲

- ・全組織、全活動、全従業員が対象である。
- ・レポート対象期間 1 月 1 日～12 月 31 日

2-2.環境活動実施体制



3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

《基本理念》

株式会社司建設は、環境に関する社会の関心が高まるなか
施工を通じ環境問題に積極的に取り組むことにより環境改善を図り、
安心安全の社会貢献に向け取り組みを推進する。

《環境方針》

- ① 事業活動において、省資源・省エネルギー・節水に努めます。
- ② 産業廃棄物の削減をはかり、再利用・再資源化に努めます。
- ③ 環境に関わる関連法令を遵守し、環境保全の向上に努めます。
- ④ 地域の環境に配慮した工法・製品での建設物を提案し推奨します。
- ⑤ 地産地消を推進し、環境に優しい製品・工法の普及に努めます。
- ⑥ 地域貢献活動に積極的に参加し、環境意識の向上に努めます。
- ⑦ 環境活動を公表することにより、社員の意識向上に努めます。
- ⑧ 環境経営の継続的改善を誓約する。

制定日平成 29 年 7 月 1 日

改訂日令和 2 年 6 月 1 日

株式会社 司建設

代表取締役 春山晴夫

4. 環境経営目標（中長期）

1月～12月

項 目			単 位	基準値(2020年)	2024 年目標	2025 年目標	2026 年目標
二酸化炭素削減	CO2排出量		kg-CO2	223,454	189,936	187,701	185,467
			(%)	100%	85%	84%	83%
	電力		kWh	17,485	14,862	14,687	14,513
	ガソリン		ℓ	14,363	12,209	12,065	11,921
	軽油		ℓ	68,170	57,945	57,263	56,581
	灯油		ℓ	5,688	4,835	4,778	4,721
	プロパンガス		kg	30.0	26.00	25.00	25.00
	一般 産廃	可燃ごみ	kg	600	510	504	498
		混合	kg	19,000	16,150	15,960	15,770
水削減	水使用量		m³	340	289	286	282
			(%)	100%	85%	84%	83%
	環境に配慮した 工事		一	工事毎に、環境 に配慮した施工 を行う(公共工 事)	△1 顧客要 求件数以上 件/1工事	△1 顧客要 求件数以上 件/1工事	△1 顧客要求 件数以上件/ 1工事

※ 二酸化炭素調整後排出係数 0を使用(TG オクトパスエナジー社移管)

△1公共工事 4 件/1 工事を顧客要求件数以上に改訂

R6.4.3

4-1.環境目標にもとづく環境活動

	項 目	活動計画	活動項目
1	CO ₂ の削減	TG オクトパスエナジー電力事業	
		1 の推進	・ 維持継続活動
		照明の消灯	・ 室内照明の節電
		2 エアコンの適正使用	・ 設定温度の適正化
			・ フィルターの定期清掃
		3 省エネ機器の使用	・ LED 型蛍光灯へ順次移行実施
			・ ICT 活用工法・ドローンの活用工法
		4 省エネ運転の実施	・ エコドライブの実施・遠隔地相乗り
			・ 待機時のエンジン停止
		5 ポンプ稼働・建設重機の適正使用	・ 工事毎 適切な作業指示を行う
			・ 無駄な工程を削減する
		6 暖房器具の使用量削減	・ フィルターの定期清掃
			・ 設定温度の適正化
2	産業廃棄物の削減 (廃プラスチック)	1 材料等の有効利用	・ 在庫資材の活用
			・ 発注量の適正化
		2 建設副産物再資源化の徹底	・ マニフェスト管理の徹底・法の順守
			・ 分別の徹底
3	総排水量の削減	1 水道水の削減	・ 河川水の有効利用
			・ 打ち水の禁止
			・ 調達困難地の水運搬の縮小
		2 河川水等の有効利用	・ 工事現場の節水
			・ 河川水の有効活用
4	グリーン購入	1 用品購入	・ 事務用品のグリーン商品の購入
			・ 環境対策資材の提案・購入
		2 機械購入	・ 環境対策機械の購入
5	環境配慮工事	1 発注者への提案	・ 質の高い環境配慮の工法を提案する。

5. 環境経営目標の実績と評価

1月～12月

項目		基準値 (2020 度)	2024 年度 目標値		2024 年度実績
CO2 総排出量(kg-CO2)		223,454	-15%	189936	147067
電力*1 (kWh)	使用量	17,485		14862	20882
	排出量	0		0	0
軽油 (L)	使用量	68,170		57945	43123
	排出量	175,879		149497	111257
ガソリン (L)	使用量	14,363		12209	13952
	排出量	33,322		28324	32369
灯油 (L)	使用量	5,688		4835	1370
	排出量	14163		12039	3411
プロパンガス (m3)	使用量	30		26	10
	排出量	90		77	30
上下水道(m³)	購入水道量	340	-12%	289	135
可燃ごみ(kg)	排出量	600	-15%	510	436
産廃 混合(kg)	排出量	19000	-15%	16150	10920
環境に配慮した工事	件数	1 件/公共元請け 1 件	要求件数 以上	/公共工事 1 件	21 件/7 件

※TG オクトパスエネルギー(株) 二酸化炭素調整後排出係数 0を使用

達成状況の反省と展開

- (1)オクトパスエネルギー電力事業採用により基準値を置き換え継続して二酸化炭素排出量の、23%削減となったがガソリン使用量が増加要素となっている。(遠方受注工事内容も起因)
- (2)省力化:ICT 活用工法・ドローン活用がより図れた。
- (3)環境配慮提案は顧客要求件数以上に改訂し達成でき力量も向上した。

総括・来年度への展開

- (1)省力化:ICT 活用工法・ドローン活用工法を工事により対応図ること。
- (2)環境配慮工事提案は、各代理人がより質の高い提案を積極的に継続取り組むこと。
- (3)オクトパスエネルギー社に移管後の継続電気量維持管理のこと。
- (4)道路清掃作業定着を図ること

6. 環境教育の計画と実施

No.	教育訓練名称	対象者 実施日	講師	内容
1	環境全従業員教育	全従業員 1. 22	環境管理責任者	当社の環境活動方針 今期の環境活動計画
2	専門教育	全従業員 6. 12	環境管理責任者	法規制の特性方法、遵 守方法の教育を受けた
3	緊急時対応訓練	全従業員 12. 27	牛山政人・矢澤秀一	緊急時の対応手順書に 基づく訓練で手順の適 切性・有効性を確認す る

7. 緊急事態の特定、準備、訓練

緊急事態と影響の内容	主な対応方法
 1 火災・油類流出対策	・緊急事態を想定した教育・訓練を実施する。(実施事項を記録する。) 1. 危険物取扱手順書 2. 緊急時訓練の実施記録 ・会社・倉庫に消火器・オイルマットを常に保有する。 ・現場事務所・喫煙場所及び火気使用箇所に消火器を常備する。 ・現場事務所の中にオイルマットを常備保有する。 ・各手順書再認識。 (手順書改訂必要なし)

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

次の法が適用され、2024 年 12 月 22 日、遵守の確認を行ったところ、下記の結果でした。
なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去 7 年間ありません。

適用法	法規制内容		評価結果
騒音規制法	・特定建設作業の実施の届出 ・例: バックホウ 80kw以上(環境大臣指定は除く)	○	詳細は遵守評価記録による
振動規制法	・特定建設作業の実施の届出 ・例: 杭打機、破砕機(1 日 50m以内)	○	詳細は遵守評価記録による
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・事業所の外で自ら当該産業廃棄物の保管の届出 廃棄物を適正に処理、再利用・原料の促進 ・許可業者に委託(一廃は許可証の確認) ・許可業者に委託(産廃は契約) ・産廃置き場に法定看板の設置 ・マニフェスト発行・返送遅延時の届出 マニフェスト交付状況の報告 ・蛍光管等水銀使用製品分別保管	○	・詳細は遵守評価記録による
指定副産物利用促進省令	・指定副産物に係る再生資源の利用の促進 ・建設発生土の利用の促進 ・建設発生土を保管する場所の確保 ・副産物の利用促進 ・再生資源利用促進計画の作成 ・管理体制の整備	○	詳細は遵守評価記録による
リサイクル法	・事業者の責務 ・分別回収し再資源化の促進 ・再生部品・再生資源の利用促進	○	詳細は遵守評価記録による
建設工事に係る再資源化	・建設廃材の抑制・再資源化費用の低減 ・再資源化資材の使用 ・建設物等の分別解体・再資源化対象建設工事 ・対象建設工事の届出	○	詳細は遵守評価記録による
消防法	・指定数量の 1/5 以上、指定数量未満は少量危険物の届出を行う。	○	・本社には灯油タンク 200ℓがある。届出済
フロン排出抑制法	・3 ヶ月に 1 度の簡易点検の実施	○	点検表にて実施

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

経営者による取組みの見直しを行い、次の結果が得られました。

インプット(審議事項)	アウトプット (見直し結果:社長指示)	担当	期限
(1) 目標の達成状況 ・TG オクトパスエナジー電力事業推進継続的な活動により基準値を置き換えたが目標達成することができた。 ・CO2 削減:174533kgCO ₂ 23%減 ・ガソリン使用量 14%増加は遠方工事増によるものと思われる ・環境配慮工事 公共工事の元請受注について顧客要求以上とした 21件/7 工事	・この事業のより CO ₂ 削減は図れるが電力量軽減活動継続のこと ・環境配慮工事提案は、各現場代理人がさら質の向上を図ること。 客先要求件数以上件/1 工事に目標継続のこと	全員 代理人	継続 “ “
(2)最近の不適合事例及び是正処置・予防処置 ・労働災害 0 件	・2025 年度 0 災継続のこと	常務 全員	継続
(3)地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正・予防処置(管理責任者) ・苦情 0 件。 ・他社事例予防処置	作業配慮徹底の事。 ・類似災害撲滅のこと	全員 “	継続 “
(4)法規制、遵守評価、社会状況の変化 ・残土受入事業:契約順守活動チェック	・環境規制等順守評価リストで落ちなく管理の事。	各担当	1 月から
(5)負荷の自己チェック、の結果を説明した。 TG オクトパスエナジー移管継続	・移管後電力量配慮のこと	矢澤	1 月から
(6)改善の提案他 ・ICT 活用拡大について ・ドローン活用工法 ・DX 増設	・ICT・ドローン・DX の活用工法をより拡大を図ること。 ・SDGs継続的活動推進のこと	代理人 矢澤	1 月から 1 月から

(7)方針、目標、EMS の必要性の言及 ・環境経営方針の見直し ・環境経営目標の見直し ・実施体制の見直し	・見直しは必要はない	矢澤	1 月から
---	------------	----	-------